

名古屋市立砂田橋小学校の総合学習を支援しました



みながとも暮らしの川

土岐川・庄内川両河川水協会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



いのちと暮らしを守る
防災 減災

国土交通省

SHONAI RIVER OFFICE

9月6日(火)に、矢田川橋緑地で実施された名古屋市立砂田橋小学校の総合学習を支援しました。

授業では、児童たちにとって身近な川である矢田川でのガサガサ調査や水生生物の観察、水質調査などの体験を通して河川環境の大切さを学んでもうとともに、実際に水害を体験したことのない世代の児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子を知ってもらうことで、水防災に対する意識の重要性を伝えました。

環境学習 ～ガサガサ調査～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチプール～



環境学習（水質調査:水道水と矢田川の水）



【参加した生徒：4年生47名】

★生徒たちの感想

- ・外からはなかなか見えないけど、タモですくと、こんなにたくさん生き物が矢田川にもいるんだなと思ってびっくりした。
- ・メダカだと思っていた魚は、カダヤシだった。飼ってはいけなし、繁殖しすぎて大変ということを知り、そんな生き物が矢田川にいることに驚いた。
- ・きれいな川だと思ったけど、水質調査で、十字が見える高さが違った。きれいな川にしたいなと思った。
- ・矢田川に絶滅危惧種の魚がいたから、その魚を守るために、もっと川を大切にしようと思った。
- ・「自分の命は自分で守る」という話を聞いて、わたしも意識しようと思った。
- ・魚やエビをさわったのは初めてで、エビをさわったら、つるつるしてはねたのでびっくりした。

防災教育～近年の大規模水害の説明～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。